



クリストフ・バロン



シャンパーニュ クリストフ バロン Champagne Christophe Baron レ オート ブランシュ ヴィーニュ Les Hautes Blanches Vignes 2018

The People

Horsepower / Cayuse Vineyardのクリストフ・バロンは、1677年までさかのぼるシャンパーニュ地方の長い歴史を持つヴィニユロン(ブドウを栽培し醸造まで行う)の家系に生まれました。彼の専門知識は、アヴィズ(シャンパーニュ地方)とブルゴーニュのワインの中心地ボヌーでの研修で磨かれ、そこでテロワールという言葉の本当の意味と重要性を学びました。彼のこの新しいプロジェクトに参加したのは、クリストフの従姉妹であり、シャンパーニュ・バロン・アルベルトのクレア、リゼ、アリーヌ、そして妹のイザベルです。もちろん、クリストフの両親オデットとジルベール・バロンからこれらの貴重なブドウ畑を受け継いだことがなければ、この事業は成り立ちませんでした。

The Estate

“シャンパーニュの門”と呼ばれるパリとランスの間にあるマルヌ渓谷の西部、ワイン通がパリからシャンパーニュ地方を旅する際に最初に入る地域にシャンパーニュ・クリストフ・バロンは位置しています。非常に古いピノ・ムニエのみのシャルリ・シュル・マルヌ村、クルット・シュル・マルヌ村、ポルテロン村に囲まれた3ヘクタールの畑を所有、収量がとても少ないため、生産量は極僅かです。ピノ・ムニエはマルヌ渓谷の西部地区の伝統的な品種であり、シャンパーニュ・クリストフ・バロンの独自のアプローチとビジョンの基盤を形成しています。単一畑、単一ヴィンテージ、単一ブドウというドメーヌの哲学は、テロワールがすべてを語ることを可能にし、それぞれの区画の特徴を強調しています。この地域の伝統的な農法と土壌の栽培方法を生かすためのユニークなワイン造りと言えます。

畑 Les Hautes Blanches Vignes

Charly-sur-Marne (シャルリ・シュル・マルヌ) の町に位置するこの0.602haのブドウ畑は、1969年に初めて植えられました。海拔117メートル、傾斜19パーセントの南西向きの畑です。Les Hautes Blanches Vignesとは、日本語で「上から見た白いぶどうの木」という意味です。

97 ポイント Owen Bargreen

暖かなヴィンテージの中で非常に印象的なワイン。香りにはトーストしたマジパンやナツメグのニュアンスがあり、カンタロープ・メロンやグアバの風味と相まって、このワインにエキゾチックなアクセントを与えている。味わいは深くリッチで、口に含むとシルクのような質感と非常に洗練された泡を感じる。フィニッシュは長く、明るい柑橘系果実と大量のミネラルを伴う颯爽とした深みのあるシャンパーニュで、熟成のポテンシャルを秘めている。



産地： シャンパーニュ
品種： ピノ・ムニエ 100%
アルコール： 12.5%
農法： オーガニック農法
植樹： 1969 年

栽培面積： 0.602 ヘクタール
標高： 117m
デゴルジュマン： 2022年4月
リリース日： 2023年10月16日
生産数： 1,611本 (マグナムのみ)

1本特別木箱入り
希望小売価格：
¥ 50,000 (税込 ¥ 55,000) [1500ml]



輸入発売元

オルカ・インターナショナル株式会社 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-2-19 9F
TEL 03-3803-1635 FAX 03-3803-1637 www.orca-international.com